

生産者と交流会 美勢商事(株)

9月5日 生駒北コミュニティセンターはばたきにて

餃子の生産者の美勢商事(株)との交流会を開催しました。奈良でも利用が多く人気がある消費材の餃子について、大変興味深いお話を聞くことができました。参加者は23名。うち、組合員でない方の参加は9名でした。

足し算で作られる消費材のぎょうざ

一般的な餃子と消費材の餃子は何が違うのでしょうか? 「引き算」「足し算」という言葉でわかりやすく説明があり、参加者全員が理解が一気に深まりました。一般的な餃子は、まず価格が決められ、そこから様々な経費が引かれた『残り』が原材料費となるため、価格の高い肉は使う事ができず、代わりに安価な粒状大豆たんぱく(大豆かす)を使い、味付け・風味付け

のためにさまざまな添加物を加えて製品化。

一方、消費材の餃子は組合員の声をもとに作られ、原料を追求し、経費を積み重ねて作られています。健康に育てられた豚・大切に育てられた国産野菜・職人技の国産小麦の皮・調味料も消費材を使用、というように、それぞれが旨みたっぷりの原料や調味料を使用しています。

「知るこゝろ」「選ぶこゝろ」

私たちのからだは、食べもの・飲んだもので作られません。今回、冷凍

餃子の真実を知るとともに、生活クラブの消費材が、一般品と単に「価格が違う」だけではない事も学びました。参加者の意識も新たに変わったようでした。

なお、今回の交流会は、未組合員や加入1年以内の新規組合員を主な対象とし、未組合員には生活クラブを知ってもらう事を、又、新規組合員には今後更に生活クラブの消費材に愛着を持ってもらう事を目的としました。次回開催は来年春を予定しています。
(理事 堀口雅子)

バナナの室見学 タナカバナナ

7月2日からの予定であったフィリピンネグロス島訪問が中止、室見学にて。

テロか戦闘準備がフィリピン内に不穏な動きがあるとの事で、訪問がなんと直前に中止。あらゆる準備の最終段階で知らせを受け、もう全身のチカラが抜け、しばらく落ち込みましたが、気を取直して室見学へ!

きれいな、独特の緑色のバナナが港から運ばれて来て、大切に、長年培われた技術で熟成される。この室では色んなブランドのバナナを扱っておられますが、我らの愛しのパランゴンちゃんには、特別な愛着を頂



いているような、そんな気がしました。
(中南部エリア 山口幸子)

市民活動として甲状腺検査を

9月9日 生活クラブ連合会にて報告会参加

- 報告「2016年度活動概要について」 連合会企画部 渡辺繁美氏
- 講演「放射線の健康影響：小児甲状腺がんと低線量被ばくについて」 旭川北医院 松崎道幸氏
- 報告「3・11甲状腺がん子ども基金」設立について 医学博士 崎山比早子氏
- 報告「桑野協立病院(郡山市)での甲状腺検査から見えること」 生活クラブふくしま副理事長 緑川順子氏
- 質疑応答とディスカッション

松崎先生の講演では、検査活動を市民活動として継続的に取り組むことの大切さと、内部被ばくが続いている福島の子どもたちへ保養を行うことの重要性について、改めて確認しました。崎山先生からは「3・11甲状腺がん子ども基金」により、25歳以下で甲状腺がんと診断された人に一律10万円を支給し、さらにアイソトープ治療が必要な人には10万円追加されることについて知りました。緑川さんからは、福島県が行う集団検査の県民調査ではなく丁寧な検査してもらえることが報告されました。不安な母の気持ちに寄り添って一人一人の検査に

長野発 水物豊かな森が水を育てる

「シャボン玉フォーラム in 長野」 6月17日・18日 塩尻市 (詳しくは sekkennet.org 参照)

この度、組合員の支援をいただき、参加させていただきました。

塩尻には大分水嶺が2か所もあり、森に降った雨はやがて太平洋・日本海へ注ぐ水のスタート地点です。森と水の関係を学ぶことで、豊かな自然を守るために石けんを利用する人を増やし、石けん運動の輪を広げていくのが趣旨でした。このあと塩尻市長のあいさつがあったのですが、お二方の話を聞いて、「大分水嶺」は「大いぶんすいれい」と読むこととその意味、「大」がつく分水嶺は日本海・太平洋の両方へつながっているということ、そして、石けんなどの「森? 水? という疑問がすくすくしました。」

大分水嶺周辺と釜口水門見学ツアー

どんなところかなーと思っていたのですが、つましい



右は太平洋へ 左は日本海へ

来年は札幌で

正直に言つと、もっと合成洗剤や香料に関する最新の情報が得られればという期待があったので、物足りなさはあるの

立ち会い、話しを聞いて行動されている緑川さんの報告は、会場に集まった全ての人の心を動かすものでした。

奈良でもリフレッシュツアーを

奈良では、2012年から始まった検査活動に、ほぼ毎年参加しています。

また、来年度に向けて、いよいよリフレッシュツアーを企画し、福島の組合員が奈良で保養出来るように組み立てていきます。交流会も予定しますので、組合員同士おなじ母として話しをしませんか? 積極的な参加をお願いします。
(理事 岡田真澄)

組合員ひろば

「NPO法人市民の輪いこま」より

生駒市の組合員さんへ ネットアンケートのお願い
生駒市が「ゴミ半減」を目指して「家庭系ゴミの有料化」をスタートさせて約2年が経過しました。私たちは、この機会に、市民の皆様方の「ゴミ問題」に対する意識と行動をアンケートさせていただくことといたしました。
早速ご自宅のパソコンあるいはお手元のスマホで検索して、アンケートにご協力ください。ご返信いただきましたアンケートは、集計して統計数値としてまとめさせていただきます。

『NPO法人市民の輪いこま』は2006年9月設立、2012年6月NPO法人化して、なにもかも行政に任せる、あるいは頼るのではなく、市民目線でのまちづくりを目指して、微力ながら活動を展開してきました。その目線は、環境・医療・福祉・教育・子育て等々生活全体に幅広く向けています。

理事長：高比良啓子(生活クラブ組合員)
ホームページ：
<http://www.geocities.jp/shiminnowa/>
(「市民の輪いこま」で検索)
E-mail: nposhinnowaikoma@freeml.com



市民の輪いこまのHPが開きます

ですが、全国各地、それぞれの状況に応じて柔軟に力強く活動していることがわかり、興味深かったです。
来年は5月に札幌開催です。是非参加したい!!
ここで立候補しておきます。
(中南部エリア 堀田恭子)